



# たまき 社協だより

2015.8 No.55

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会  
〒519-0433 玉城町勝田4876-1  
TEL 0596-58-6915 / FAX 0596-58-6916  
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>  
E-mail [tamasya@amigo2.ne.jp](mailto:tamasya@amigo2.ne.jp)



委嘱式

## 元気ですたまき委員会 第4期始動

委員会は、8年目を迎え4期目のスタートをきりました。

4月22日、第1回の定例会の前に『委嘱式』を行い、田村禎章先生（ユマニテク医療福祉大 学校）をアドバイザーに11名の方に辻村会長から委嘱状をお渡ししました。

今期から新たに地元障害者施設や防災組織の代表も加わり、玉城町に住む人・働く人様々な分野から組織され、これまでの活動を基に、更に多くの方に関わっていただけられるよう、自分たちに出来ることを一つずつみなさんと共に積み重ねていきたいと思っております。

# 平成26年度社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会事業報告

## 平成26年度を振り返って

平成26年度は当協議会が法人となつて30年目の年となり、事業を進める中で多くの方からご支援をいただきました。ありがとうございました。

地域や社会とのつながりが希薄化し助けあい支えあう仕組みが失われつつあるなかで、顕在化したニーズを把握し、支援策として計画策定した「地域ふくし力向上計画」を推進し、今年度3年目の最終年度となりました。引き続き次期計画にも、あいさつ運動の継続的な展開をはじめ、住民が集う場、イベントなどにも積極的に参加し、人と人とのつながりの機会を創出していききたいと考えています。

その他の事業として、在宅介護分野においては地域内の施設の充足も進み、介護報酬の収入減の幅が広がっています。一方、障がい者支援においては障がい者・児への相談支援事業を開始し、町と協力し合つて新たな障がい者福祉施策に取り組みはじめたところです。

元氣バス運行も6年を経過し、東京大学大学院との共同研究の集大成となる高齢者医療費への効果を実証され、ますます安心して暮らしやすい町の実現のため、その一助となっていることも分かっています。

以上のように、当初掲げた事業を予定どおり進めることができ、本会への一段の理解を得られたと考えています。

平成26年度の事業内容については、次のとおりです。

### 1. 法人運営

#### 法人運営の経営体制の強化

理事会・評議員会開催

#### 社会福祉協議会会員制度等の推進

#### 社会福祉協議会の役割や活動周知

会員区分	会員口数	会費
個人会員	300円/口 1,942口	582,600円
団体会員	5,000円/口 70口	350,000円
賛助会員	10,000円/口 32口	320,000円
計		1,252,600円
寄付金額		2,728,844円
チャリティーバザー収益額		55,850円

①『元氣ですたまきまつり』の開催  
6月1日(日)開催。

②普及宣伝

- ・広報「たまき社協だより」発行
- ・ホームページ・フェイスブックの活用

#### 役員・職員等の資質向上研修の取り組み

#### 各種関係機関・団体との連携強化

- ①民生委員児童委員協議会活動
- 民生委員・児童委員33名、主任児童委員2名
- ②福祉協力員の活動 21名
- ③福祉5団体の会員状況

団体名	会員数
玉城町老人クラブ連合会	1,767名
玉城町身体障害者福祉会	174名
玉城町遺族会	304名
玉城町母子寡婦福祉会	31名
玉城町手をつなぐ親の会	22名

### 2. 地域福祉事業の推進

身近な地域で福祉サービスを楽しめる地域づくり(老人福祉活動事業)



熊野古道ふれあいウォーキングゴールの様子

①高齢者サロン町内7か所(13字区) 利用人数…134名

②ほのぼの便(安否確認) 利用人数…147名

③歳末援護事業(まごころ弁当) 延べ参加人数…30名

④ホッとサークル(介護者のつどい) 年3回開催

⑤ぴんの会(独居高齢者支援事業) 年12回開催

⑥給食サービス 年19回配食 延べ利用者数…443名

⑦楽笑会(らくしよukai) 3地区開催(外城田地区、有田地区、下外城田地区)

外城田地区参加人数…77名  
有田地区参加人数…49名  
下外城田地区参加人数…52名

積極的に社会参加できる環境づくり(福祉育成・援助活動事業)

- ①元氣ですたまき事業
- 委員会運営 定例会12回開催
- あいさつ強化運動(毎月第3火曜日)
- 元氣ですたまきオリジナル体操推進
- 健康しあわせ委員会との協働活動
- 地域福祉座談会の開催(玉城中学校)
- 地域福祉活動計画(2期目)の策定
- おせつたまき婚活イベント開催

②車いす貸出事業 61件  
7月5日開催

ボランティア活動及び福祉教育の推進(ボランティア活動育成事業)

- ① ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

● ボランティアセンター活動の充実  
ボランティア登録者数：401名

● ボランティアセンター会議の開催

● ボランティア団体への支援(19団体)

● ボランティア交流事業の開催

● ボランティア養成講座の開催(おもちゃドクター)

● ふれあい福祉サービス(ちよこつと有償ボランティア)

● 登録利用者人数：12名

● 延べ利用回数：269回

② 児童生徒の福祉意識の高揚

● 福祉体験教室の開催

● 福祉協力校の育成及び活動への助成 401,423円(小中学校5校)

● 福祉協力校連絡会の開催

● 児童生徒の福祉参画促進

③ 子育てサロン

● 延べ参加人数：330名

④ ふくしを支える勉強会

● 平成27年3月15日開催

● 障がい者の自立と社会参加の促進(障がい児・者福祉活動事業)

● はっぴいサークル

● 年5回開催

延べ参加人数：56名

3. 相談・援助事業

● 福祉相談機能の充実強化

● 心配ごと相談 12件

● 窓口総合相談 32件

● 低所得者世帯の生活安定事業

● 貸付相談数 22件

● 生活福祉資金貸付 24件

● 町世帯更生資金貸付 16件

福祉サービス利用に関する相談援助事業

① 地域福祉権利擁護事業

● 利用人数：10名

4. 受託事業の運営バス事業

① 研修バス

● 利用件数：277件

② 福祉バス

● 延べ利用人数：2,291名

③ 元気バス

● 登録者数：1,335名

● 延べ利用人数：26,487名

④ すまいるバス(介護予防事業参加者への移動支援バス)

● 延べ利用人数：1,544名

各種福祉団体事業の運営

● ICTふるさと元気事業の運営

① 日本赤十字社募金(5月)

● 1,775,600円

② 共同募金・歳末助け合い募金(10月～12月)

● 1,917,615円

③ 災害義援金

※ 日本赤十字を通じて送金

● 東日本大震災義援金 28,000円

● (元気ですたままつりより)

● 桜まつりチャリティ

● 一バザール収益金より

(送金先は下記のとおり)

災害義援金	金額
東日本災害義金	10,000円
南木曾町豪雨災害義援金	10,000円
京都府・兵庫県豪雨災害義援金	10,000円
長野県神城断層地震災害義援金	10,000円

6. 在宅福祉事業の運営

介護保険事業の推進と実績

① 居宅介護支援事業

● ケアプラン作成1,872件

② 通所介護支援事業

● 延べ利用者人数：9,046名

③ 訪問介護支援事業

● 延べ利用者人数：8,284名

障害者支援事業の取り組みと実績

① 生活介護事業 夢工房たまき

● 延べ利用者人数：2,985名

② 相談支援事業 みらい(平成27年2月事業所開所)

● 利用者人数：21名

③ ホームヘルプサービス

● 延べ利用者人数：930名

移送サービス支援事業

① 福祉有償運送事業

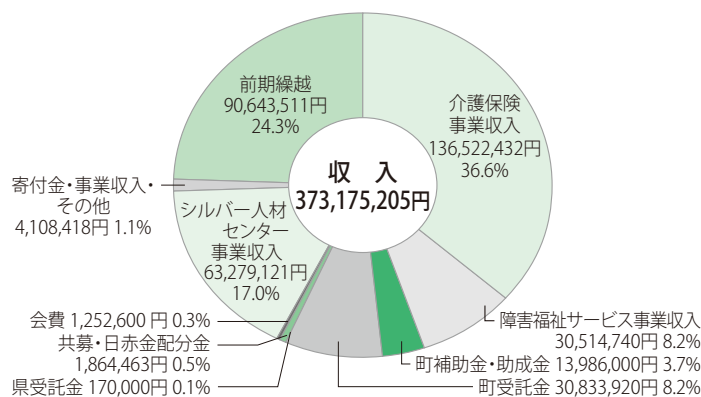
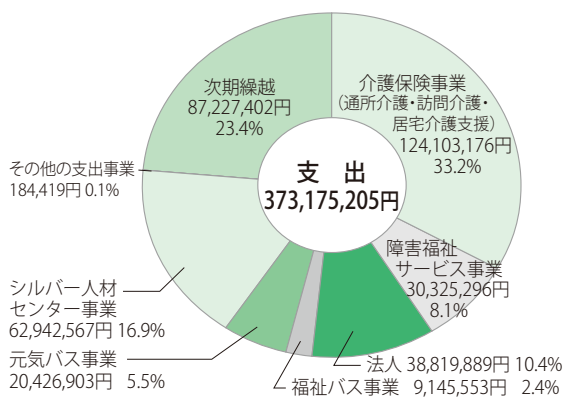
● 延べ利用者人数：1,986名

7. 地域住民からのニーズ事業

● シルバー人材センター事業

● 延べ作業人数：2,198名

平成26年度 玉城町社会福祉協議会収支決算





# 元気ですたまきまつり開催

今年も地域力・福祉力に満ち溢れた元気な玉城をPRしようと6月7日、町保健福祉会館で「元気ですたまきまつり」（主催：元気ですたまきまつり実行委員会、共催：玉城町、協賛：玉城町商工会）を開催しました。

今年度のまつりのテーマは、『みんなで広がるたまきの和』。町内外から福祉関係団体、地域活動団体等の参加を得ることができ、今年の参加数は、約60団体。少しずつ参加団体が増えていきます。

今年も、ボランティアや福祉団体のみなさんの協力のもと、来場者のみなさんとの出会い・つながり、様々な福祉活動にふれる機会を催すことが出来ました。

子どもから高齢者の方まで催しに幅広く参加いただけよう、実行委員会を設置し企画しました。新しい催しのシニアカーの試乗体験は、小さい子供たちが楽しそうに係の方と乗ったり、また、高齢者の方には福祉用具の体験として試乗頂いていました。

民生児童委員協議会によるそうめんの振る舞いは、「流しそうめん」風に用意いただき、夏の風情も感じられる催しも多くの方に喜ばれていました。

他に会場内では、ネパール地震の救援・復興支援の募金箱を設置し、チャリティービンゴ参加費で得た収益と合わせて37,673円、日本赤十字社を通じて、被災地に贈りました。まつりの内容を次のように紹介します。



オープニング「元気ですたまき」体操



そうめん振る舞いの様子



共同募金 UMOU プロジェクト啓発の様子

※元気ですたまきまつりは、共同募金配分金によって、開催されています。

## 「私たちが作りました」元気ですたまきまつり看板



まつり当日、鮮やかな色彩の看板がまつりを盛り上げました。これは、夢工房たまきの利用者みなさんが、創作活動の時間に取り組んだものです。社会参加の一環として、自分たち出来る看板作りを考え、いつも作製しているさをり織の布も使って、自分たちらしいものが出来上がりました。

これから、自分たちに出来る活動の場を模索しながら、地域のつながりを図っていきたいと思います。



# エコアート『たまき人』パネル完成！

会場内では、「元気ですたまき委員会が提唱する『たまき人』の文字をパネルにペットボトルのキャップを貼って作り上げるコーナーを設け、啓発に努めました。

「たまき人」は、玉城町にお住まいの方、玉城町で働く方、玉城町に思いを寄せられる方の総称で「玉城町ふくし力向上計画」で提唱する言葉です。多くの来場者に参加いただき、この場所から動かず一生懸命貼ってくれる小さなお



子さんの姿もありました。文字は、様々な人を表すようにいろいろな色のキャップを使い、周りは白のキャップを貼り、文字がしっかりと浮かび上がるように仕上げていただきました。

制作したパネルは保健福祉会館ふれあいホールロビーでしばらく展示します。



粘着性のあるパネルにペットボトルのキャップを貼る子どもたち

# 民生委員災害アンケートコーナー

民生・児童委員協議会では、平成23年度から災害に関するアンケートコーナーを実施しています。5年目となる今年も、昨年の5割増の方に回答していただきました。毎年、徐々に防災への取り組みや意識が高い傾向にありましたが、今年は、過去の中で、一番低い結果となり意識や関心度が薄れてきたことが伺えます。「非常袋の用意と点検」では、「はい」と答えた方は4割で、昨年と逆転しました。「自宅の耐震診断」に於いては、3割強に留まっています。「近所との会話・挨拶」は、10人に1人は、挨拶していないことが分かりました。東日本大震災から時がたち、意識の高かった昨年にピークに薄れてきたのなら、見直す時期にきたと言えます。



項目	平成26年度			平成27年度		
	はい	いいえ	合計	はい	いいえ	合計
1 自分の地区の避難場所を知っていますか。	80.5%	19.5%	164	74.8%	25.2%	250
2 災害時の非常持ち出し袋の用意と点検ができていますか。	59.9%	40.1%	167	40.0%	60.0%	255
3 家族との連絡が取れるようになっていきますか。	82.1%	17.9%	156	78.7%	21.3%	258
4 自宅の耐震診断ができていますか。	45.8%	54.2%	153	32.3%	67.7%	251
5 となり近所の人と会話していますか。(あいさつ、日常会話など)	96.5%	3.5%	142	89.5%	10.5%	248
6 家具の固定をしていますか。	39.5%	60.5%	172	33.3%	66.7%	246
	68	104		82	164	

(単位：人)



## 年々盛り上がる楽笑会

今年度も地域の高齢者と子ども達、また民生委員など地域の方たちが交流の場を持つ『楽笑会』を6月に有田小学校と下外城田小学校において開催しました。

【有田小学校（参加者52名）】  
16日、小学6年生の授業内（5、6限目）で行いました。

交流の時間は、子どもたちの企画で「玉城のクイズ」を出題し、参加者の方々が〇×で答えるものでした。

参加者の中には、子供たちに昔の話をしてあげようと里芋を持ってこられる方も見えになり、最後に「いつも楽しみにしています。子どもたちが立派で楽しみます。」と言葉も寄せられました。

子どもたちも色々企画してくれ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



楽笑会(有田小)

【下外城田小学校（参加者45名）】  
土曜日  
授業となつた20日、早くから6年生の児童は参加者を迎えるため、会場の準備を行って来ていました。



楽笑会(下外城田小)

子どもたちは事前に役割を決めており、会が始まると、内容をスムーズに進め、交流の時間も「昔の遊びと一緒に楽しもう」とみんなが楽しめるものを企画し、しっかり取り組んできたことが感じられました。

子どもたちも自分たちの企画で参加者が笑顔になっていることに喜びを感じていたようです。

高齢者への配慮や声掛けも積極的で、全員で楽しむことが出来ました。参加いただいた方は、「1週間も、1か月も前から楽しみにしていました。子供たちの笑顔の素晴らしさが嬉しい。」とおっしゃっていただきました。

また両日とも、ボランティア虹の会の方々が美味しい水ようかんを作っていたきました。

2学期には、田丸小学校、外城

田小学校での開催を予定しています。

## 仕事体験を前にお仕事セミナー 玉城中学校

玉城中学校では、2学期の仕事体験を前に2年生（178名）が県社会福祉協議会の実施する「お仕事セミナー」を6月20日、同中学校体育館で受講しました。

この日は、当協議会から2名、町生活福祉課から1名の職員が出て講師役を務め、日常生活の様々な場面で福祉は頼られる仕事と分かりやすく説明し、実際の現場でのやりがいや楽しさ、体験談を実際の声として届けました。この後、レクリエーションを全員で楽しみました。

生徒からは、どのような人が福祉の仕事には向いていますかと質問があり、「誰でもできます。特に人と関わるのが好きな人は、ぜひ選んで欲しい」と言葉を送り、

セミナーを締めくくりました。



お仕事セミナーの様子(玉城中)

## 車いす・アイマスク使い福祉体験 下外城田小学校

下外城田小学校で6月9日、4年生（25名）を対象に福祉体験授業が行われ、当協議会から西野事務局長らが出席して福祉の話のほか、車いすの操作方法、アイマスクを使った視覚障がい者のガイドヘルプの仕方など指導にあたりました。

この日の児童は、実際に体験することで障がいはどのようなことなのか、不自由なことはどういうことなのかなど学び取っていました。

体験の後は、いろんな質問を寄せてくれましたが、特にその説明の中にあつた、障がい者は「特別な見方をして欲しくない、普通に接して欲しい」と投げかけた言葉が印象に残った様子でした。



福祉体験教室(下外城田小)

## ホッとサークル

介護の合間にホッとした時間作りをしませんか？ホッとサークルは日頃の介護疲れの予防・解消に在宅介護者、また介護者OBの方を対象としたリフレッシュ事業です。

年に4回、いろいろな内容で行っています。今回はこの梅雨の時期を楽しむべく、勢和多気の紫陽花を散策しに出かけました。休みのない介護、同じ悩みや境遇、また、情報交換など、いろいろな話で盛り上がり、きれいに咲いている紫陽花に負けじと、お話にも花が咲いておりました。

このホッとサークルを通じて、がんばり過ぎない介護を目指し、このひとときが明日からの元氣になりますように。



紫陽花を楽しむ参加者

## 研修及び講習会参加者募集

### 潜在的有資格者等再就業促進研修

介護の資格をお持ちの方が再び介護現場で仕事をしていたごために、介護の現状を知り介護技術を再確認していただく研修を開催します。

**期日**：平成27年9月9日（水）、16日（水）及び施設演習 1日間  
**会場**：松阪市橋西地区市民センター  
大会議室（松阪市川井町775番地10）

**対象**：介護福祉士、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）等の有資格者で、介護・福祉分野に就業をしていない方

**申込み締切**：平成27年8月31日（月）必着  
**参加費**：無料

※詳しい内容等は三重県福祉人材センターホームページをご覧ください。

### 【申込み・お問合せ】

三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター  
TEL 059-227-5160  
FAX 059-222-0170

## 平成27年度 シニア生き生きチャレンジ教室

健康に生活されているシニアの高い就業意欲と経験技能を生かし、「居場所」と「出番」をつくることで介護現場への再就労に繋げることを目的とした研修を開催します。

**期日**：平成27年9月4日（金）、7日（月）、10日（木）、14日（月）及び施設での体験学習2日間、交流会1日間  
**会場**：伊勢市観光文化会館4階大会議室（伊勢市岩淵1丁目1-15）

**対象**：三重県内に居住する概ね75歳未満の高齢者で、地域での社会貢献活動や介護職場でフルタイムや週2〜3回のパートタイムで働く意欲を持つて見える方。

**申込み締切**：平成27年8月24日（月）必着  
**参加費**：無料

※詳しい内容等は三重県福祉人材センターホームページをご覧ください。

### 【申込み・お問合せ】

三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター  
TEL 059-227-5160  
FAX 059-222-0170

## 平成27年度音訳奉仕者養成講習会

視覚障がい者の読書環境の支援と福祉の増進を図るために、音訳技術（聞き取りやすい読みの技術）の基礎を学び、録音図書製作等に携わっていただく講習会を開催します。

**期日**：平成27年9月14日（月）、15日（火）、18日（金）、25日（金）、29日（火）（5日間）  
**会場**：三重県視覚障害者支援センター 大研修室（津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館1階）  
**受講対象者**：原則以下の項目に全て該当する方

- ① 視覚障がい者の福祉に理解と熱意のある方
- ② すべての講習会に参加できる方
- ③ 音訳の経験がない方
- ④ パソコンの使用ができる方
- ⑤ 本講習会終了後、ボランティアとして活動意欲のある方

**申込み締切**：平成27年8月21日（金）必着  
**受講料**：無料（ただし、テキスト代必要）

※詳しい内容等は三重県視覚障害者支援センターホームページをご覧ください。

### 【申込み・お問合せ】

三重県視覚障害者支援センター  
TEL 059-213-7300  
FAX 059-228-8425

# 日本赤十字社玉城町分区よりお知らせ

## 日赤募金ご協力のお礼

5月から区長様を通じ皆様にご協力頂きました募金は、1,582,500円（平成27年6月末現在）となりました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

なお、ご協力いただいた募金は、日本赤十字社 三重県支部を通じ「災害救助活動」や「国際活動」など赤十字の活動資金に活用されるほか、今年度行う「福祉体験教室」や「社会福祉大会」の事業費として町福祉活動へ交付されます。

## 被災者救護活動

火災・風水害・地震、その他の自然災害により人や家屋に被害があった場合に、日本赤十字社三重県支部から見舞金・弔慰金・緊急セットなどが支給されます。



## 「望郷の鐘」―満蒙開拓団の落日―上映会のご案内

中国残留孤児の父といわれた山本慈昭が生涯を孤児たちの肉親探しにささげ、献身的な愛でささえた感動の物語を映画化。「七粒の声の会」（代表 阪村幸代）が次のところで自主上映会を開催します。（玉城町・町教育委員会・町社会福祉協議会・町遺族会後援）

**日時** 9月6日（日）午後2時

**場所** ハートプラザみその・多目的ホール

**チケット** 上映協力金として前売り800円・当日1000円、高校生以下半額で販売。町社会福祉協議会で取り扱っています。

詳しくは、同会（☎080-11600-1540）へお問い合わせください。

## 玉城町シルバー人材センター作業員募集

人材センターでは、現在下記の作業を行っていただく方を募集しています。

しごとの内容	就業場所	日数・時間	人数
玉城町内での清掃・洗濯	玉城町内施設	1か月に10日程度 1日7時間	女性の方3名程度

※シルバー人材センターで就業していただくには、会員登録が必要となります。（玉城町在住者、年齢60歳以上の方）詳しくは、玉城町シルバー人材センター（TEL58-6915）へお電話ください。

## 日本赤十字社 コンビニで簡単タッチ募金

日本赤十字社への募金がコンビニエンスストアにある情報端末を使って簡単に行うことができます。

現在、出来るのは、ファミリーマートとローソンの端末機です。

この端末は、チケットの購入などに使われているもので、タッチパネルで寄付先や寄付額を選び、レジで支払う仕組みです。

手数料は、かかりません。

さらに、身近で便利に募金をお寄せいただくことが出来るようになりました。



## ご寄附ありがとうございました。（4月～6月）

喫茶白ゆり 様	48,460円
プランニング・ニュー 様	7,000円
鳳城朋美音楽事務所 様	50,000円
鳳城朋美チャリティー歌謡ショー 夢舞台 様	44,453円
「今日も気分はニニ・ロッ」三重実行委員会 様	20,330円
匿名(2名)	13,000円
匿名(1名)夢工房たまきへ	10,000円
元気バス募金箱	117,263円

## 屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金

受付期間：平成27年12月25日（金）まで

支援方法：郵便振替（ゆうちょ銀行・郵便局）

□座記号番号/00900-6-208120

□座加入者名/日赤口永良部島新岳噴火災害義援金

問合せ先：日本赤十字三重県支部組織振興課

TEL059-227-4145 FAX059-227-6245

※ゆうちょ銀行・郵便局窓口で取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。

※受領証を希望される方は、通信欄に「受領証希望」と記載ください。

身近な社協相談窓口ご案内（玉城町保健福祉会館）

心配ごと相談 毎月10日、20日、30日 13:00～15:00  
予約不要 相談員：民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員